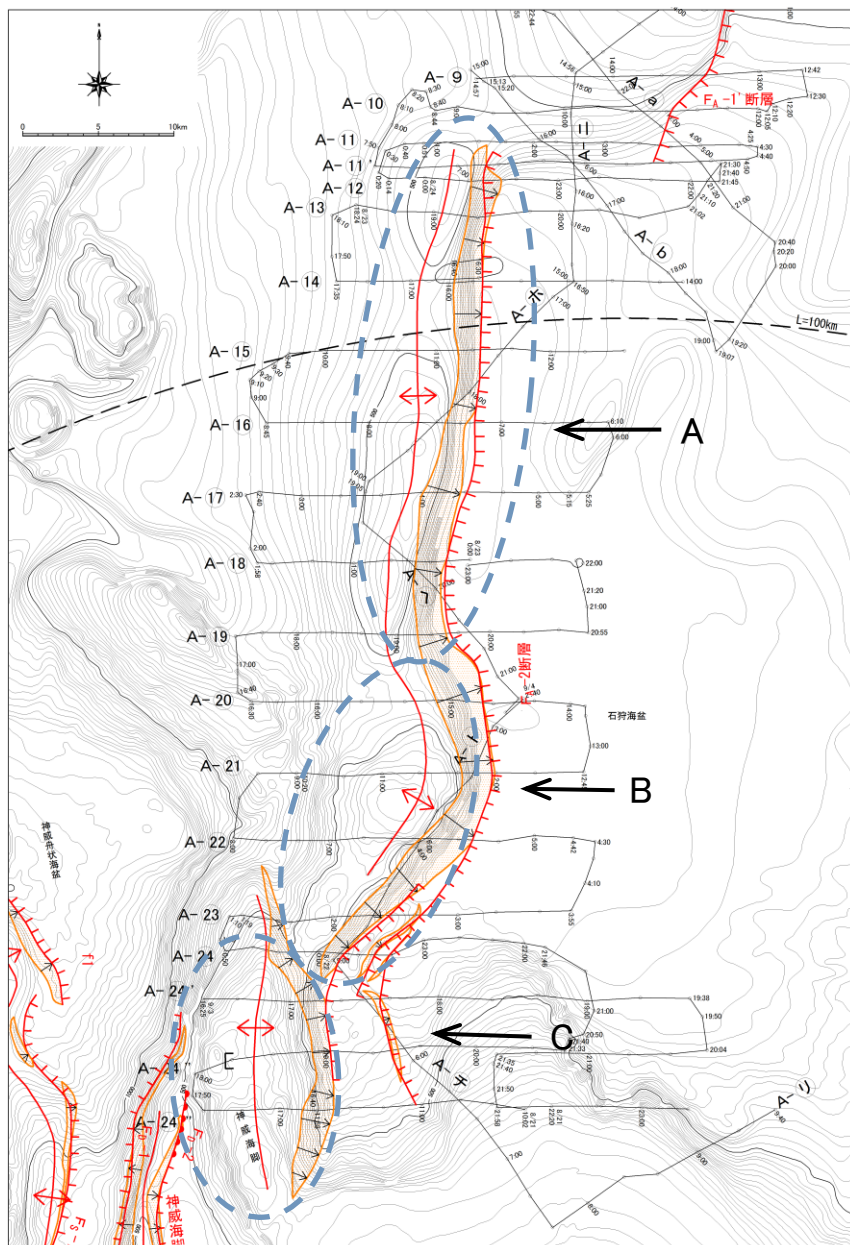




石狩海盆西縁の断層群は、石狩海盆西縁付近に認められる F_A -2断層 ($L=65\text{km}$) からなる。

F_A -2断層は、N-S走向で直線状に連続して分布し、海嶺状の地形を形成する。

石狩海盆西縁の断層群は、地形の分布や断層の走向から、細かく区分するとA～Cの単位から形成されているようにみえる。

このうち、最南部のCの単位では、基盤のIV層(始新統～中新統)が、積丹半島から、神威海脚北方にかけて、N-S方向に延びる高まりを形成している。

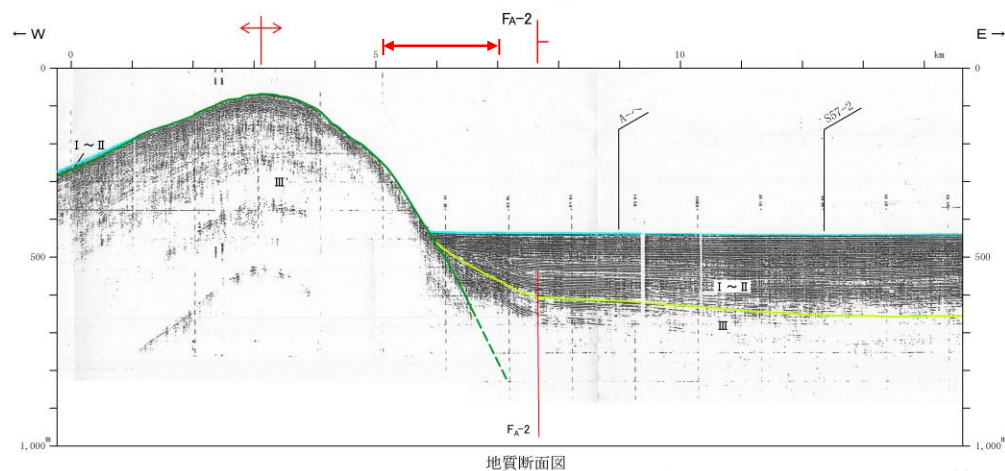
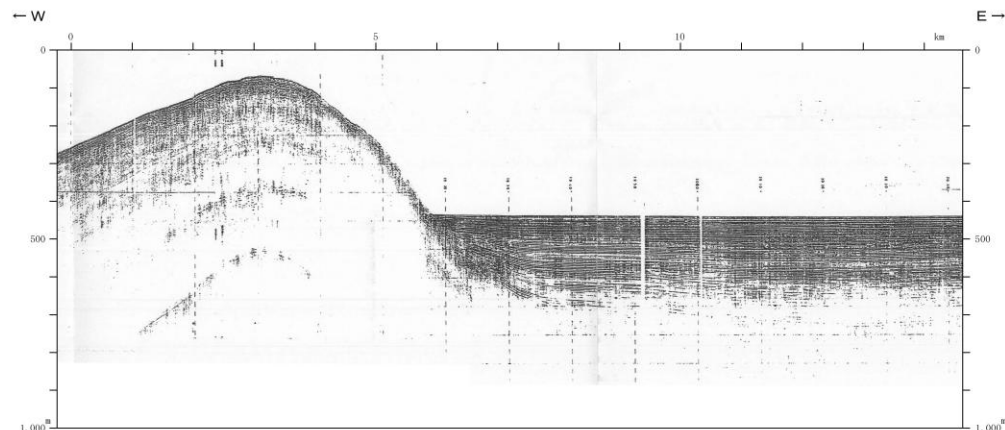
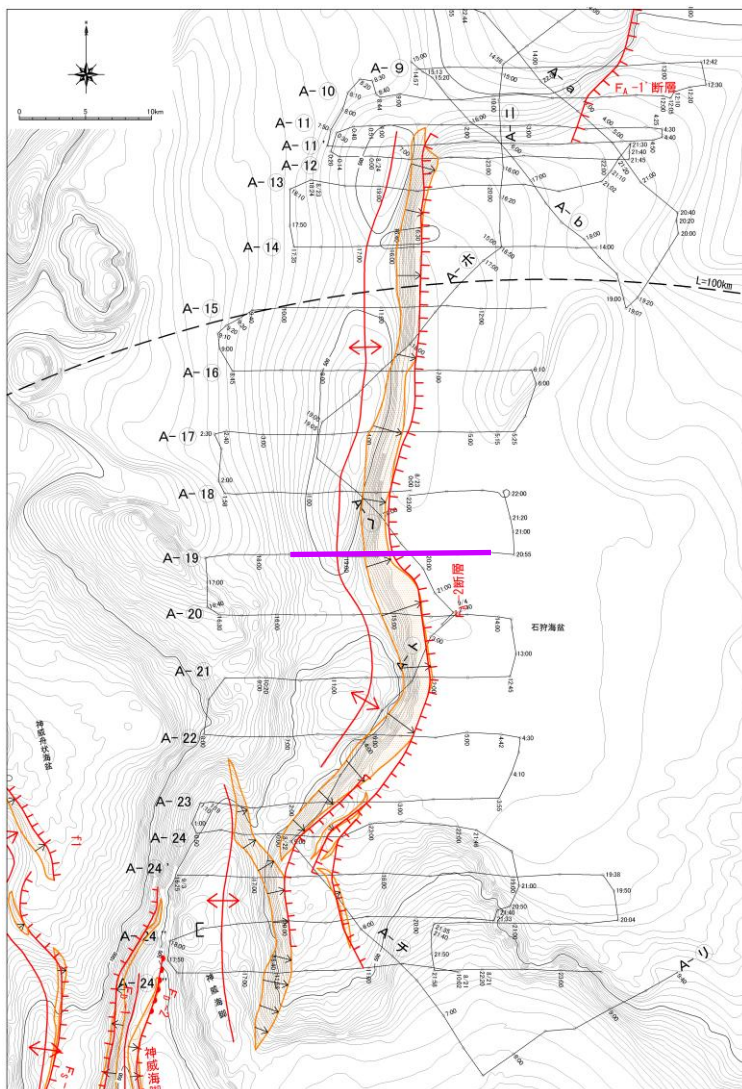
凡例



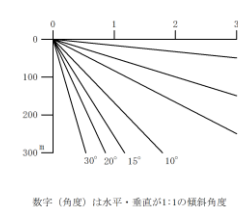
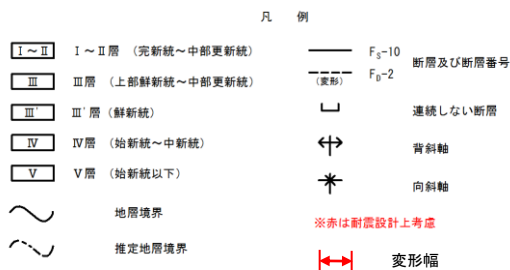
※赤は耐震設計上考慮

A-① 10 100 音波探査測線 (北海道電力㈱, 1982年)
(水中放電, シングルチャンネル)

■石狩海盆西縁の断層群(測線A-①9)

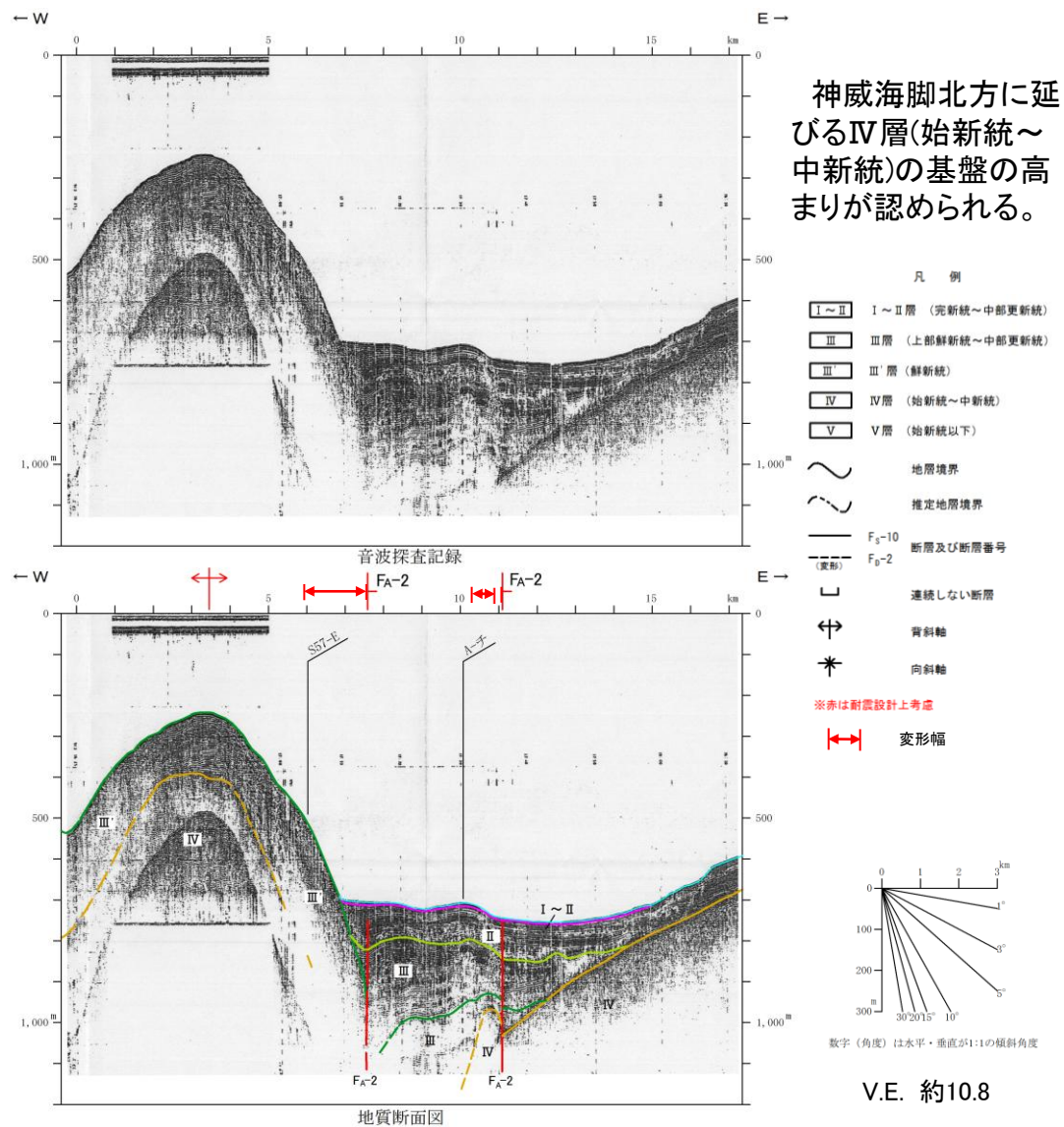


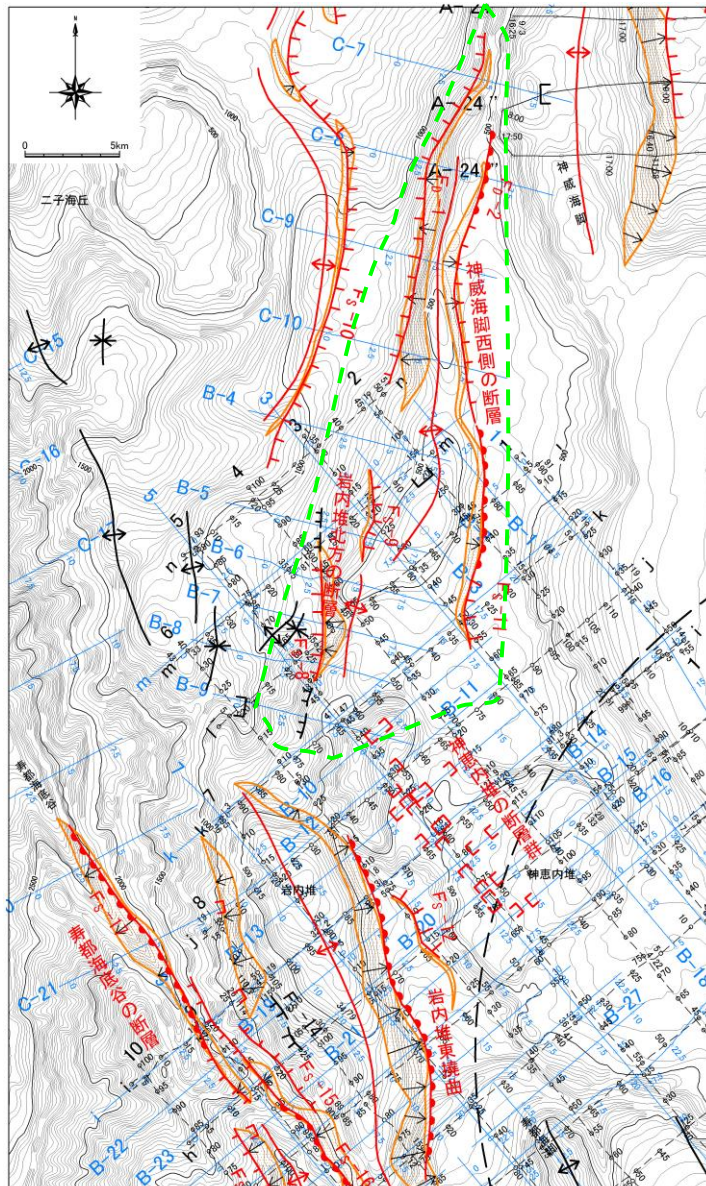
海嶺状の地形の東側基部に F_A-2 断層が認められる。



数字 (角度) は水平・垂直が4:1の傾斜角度

V.E. 約6.2





神威海脚西側の断層群は、神威海脚西側の断層(L=31.5km)、 F_D-1 断層(L=24.1km)、岩内堆北方の断層(L=13km)からなる。

神威海脚西側の断層群は、N-S方向に延びる複数の小規模な地形の高まりを挟んで分布し、これらは比較短波長の変形帯を形成する特徴を持つ。また、地形の高まりの西側に分布する断層は相対的に短く断続的である。

神威海脚西側の断層群の南部には、Ⅶ層で形成される神恵内堆が分布し、これを越えて断層が連続しない。

大局的には、西傾斜の神威海脚西側の断層が主で、地形の高まりの西側の断層は副次的な構造のように見える。

凡 例

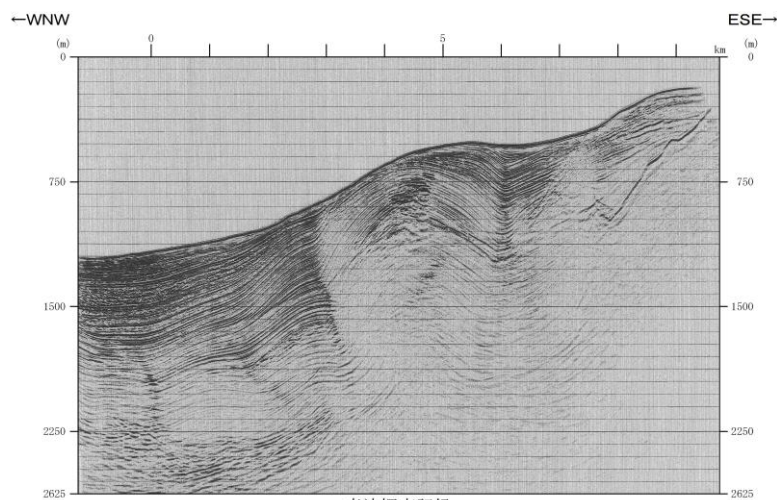
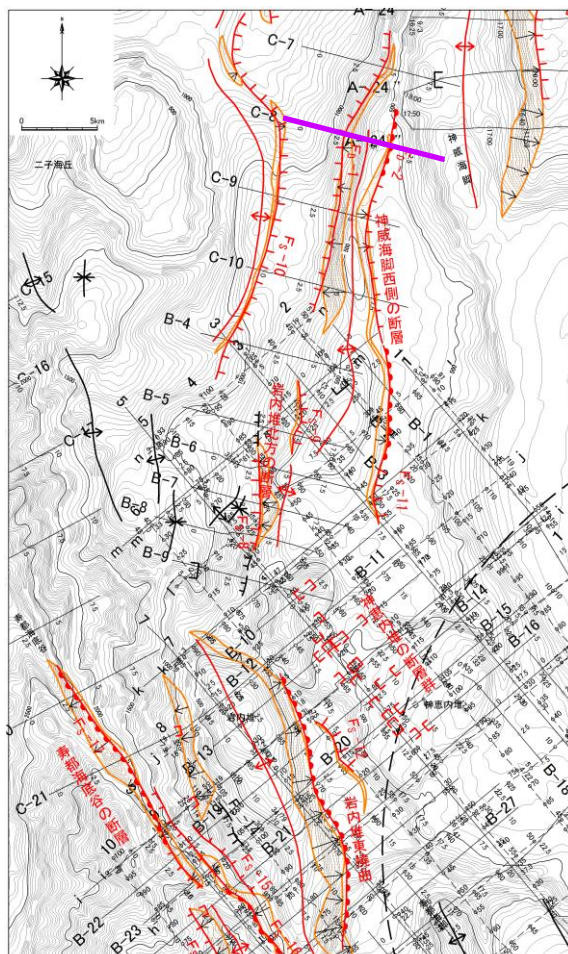


※赤は耐震設計上考慮

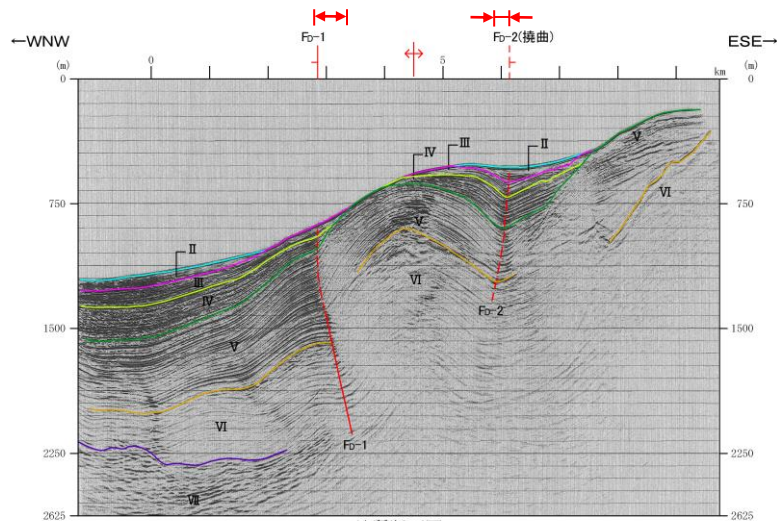
- C-11 音波探査測線 (北海道電力㈱, 1997年)
(エアガン, マルチチャンネル)
(チャープソナー, シングルチャンネル)
- 2 音波探査測線 (北海道電力㈱, 1980年)
(水中放電, シングルチャンネル)
- A-① 音波探査測線 (北海道電力㈱, 1982年)
(水中放電, シングルチャンネル)

神威海脚西側の断層群の概要

■神威海脚西側の断層群(測線C-8)



音波探査記録



地質断面図

地形の高まりの東側基部に神威海脚西側の断層(F_D-2断層)、西側斜面にF_D-1断層が認められる。

凡 例

- I 層 (完新統)
- II 層 (上部更新統)
- III 層 (中部更新統)
- IV 層 (上部鮮新統~中部更新統)
- V 層 (鮮新統)
- VI 層 (始新統~中新統)
- VII 層 (始新統以下)
- VIII 層 (中部更新統 (貫入岩))



— F_S-10 断層及び断層番号
--- F_D-2 (変形)

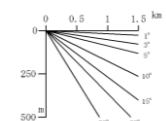
└ 連続しない断層

↔ 背斜軸

* 向斜軸

※赤は耐震設計上考慮

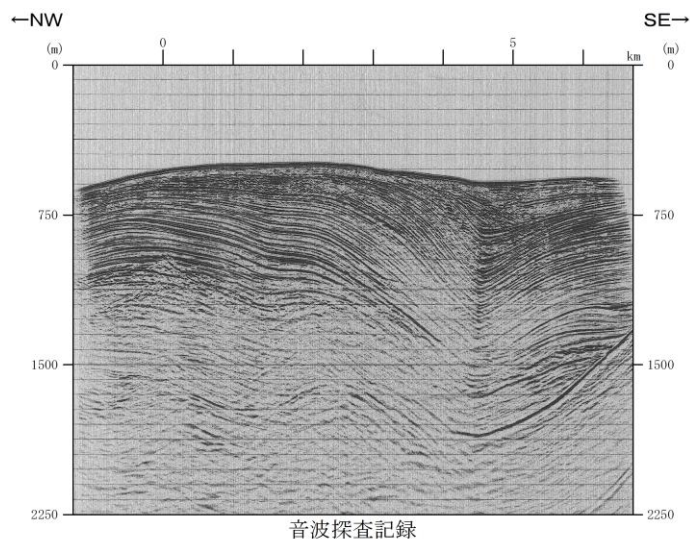
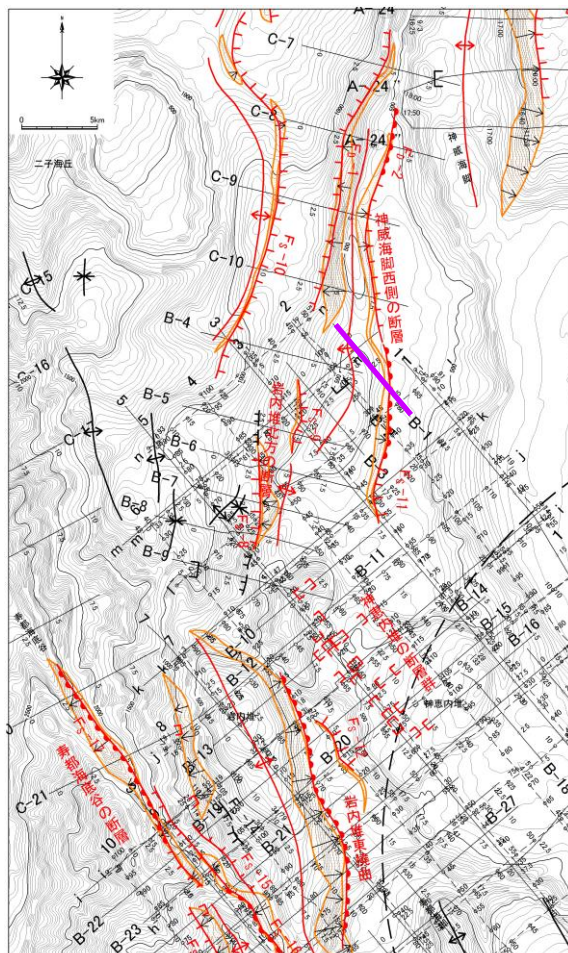
||| 変形幅



数字 (角度) は水平・垂直が1:1の傾斜角度

神威海脚西側の断層群の概要

■神威海脚西側の断層群(測線B-1)



測線C-8の南方に認められる地形の高まりの東側基部に神威海脚西側の断層 (F_D-2断層～F_S-11断層)は連続する。

凡 例

- I 層 (完新統)
- II 層 (上部更新統)
- III 層 (中部更新統)
- IV 層 (上部鮮新統～中部更新統)
- V 層 (鮮新統)
- VI 層 (始新統～中新統)
- VII 層 (始新統以下)
- VIII 層 (中部更新統 (貫入岩))



地層境界

— F_S-10 断層及び断層番号
- - - F_D-2 (変形)

└ 連続しない断層



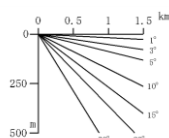
背斜軸



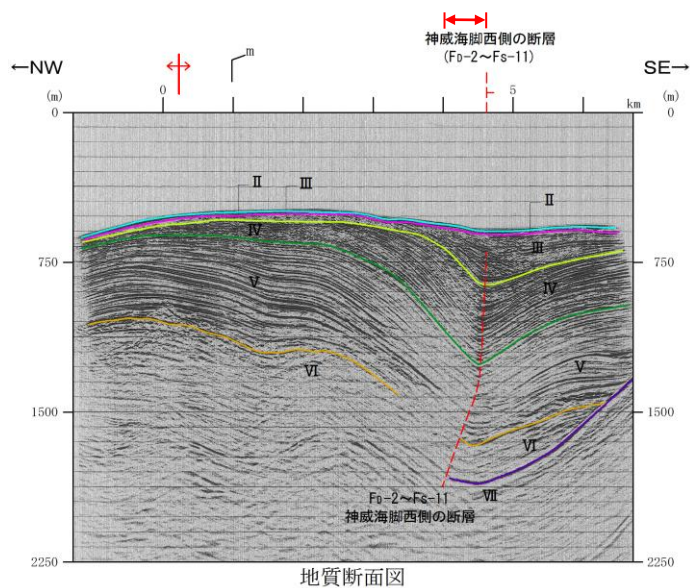
向斜軸

※赤は耐震設計上考慮

变形幅



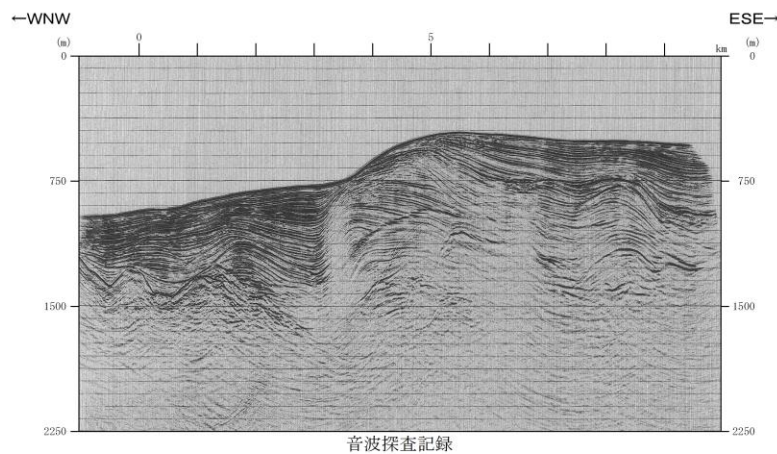
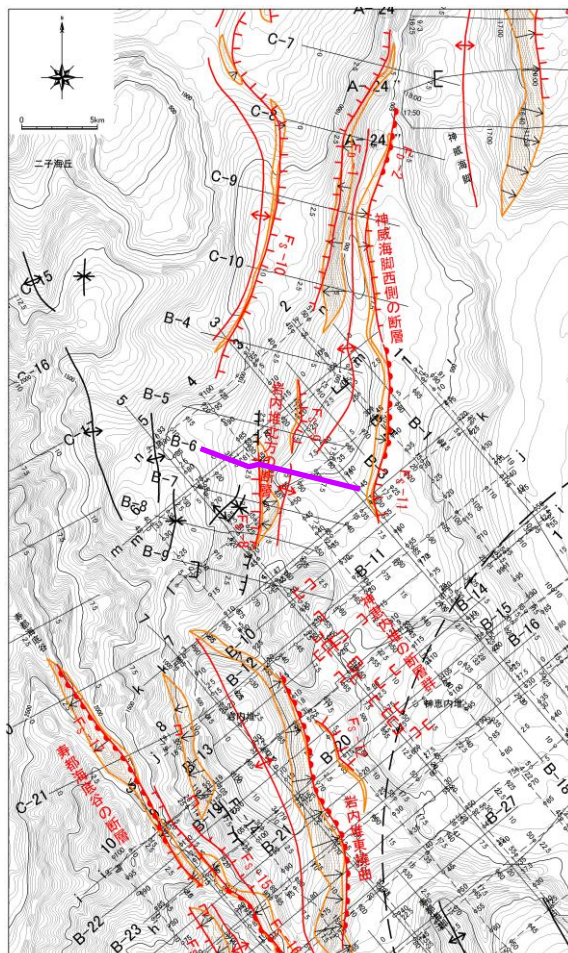
数字 (角度) は水平・垂直が
1:1の傾斜角度



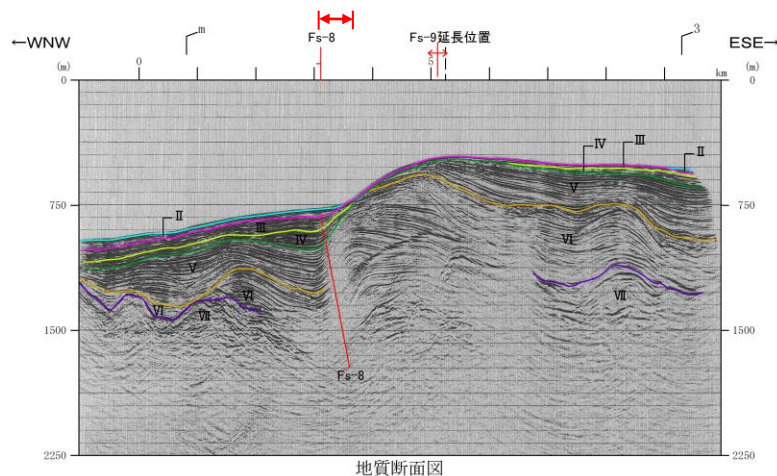
V.E. 約3

神威海脚西側の断層群の概要

■神威海脚西側の断層群(測線B-6)



測線C-8の南方に認められる地形の高まりの西側斜面に岩内堆北方の断層(F_s-8断層)が認められる。

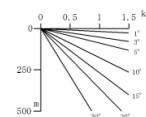


- 凡 例
- I 層 (完新統)
 - II 層 (上部更新統)
 - III 層 (中部更新統)
 - IV 層 (上部鮮新統～中部更新統)
 - V 層 (鮮新統)
 - VI 層 (始新統～中新統)
 - VII 層 (始新統以下)
 - VIII 層 (中部更新統 (貫入岩))

- ～ 地層境界
- F_s-10 断層及び断層番号
- - - F_s-2 (変形)
- ┌ 連続しない断層
- ↔ 背斜軸
- * 向斜軸

※赤は耐震設計上考慮

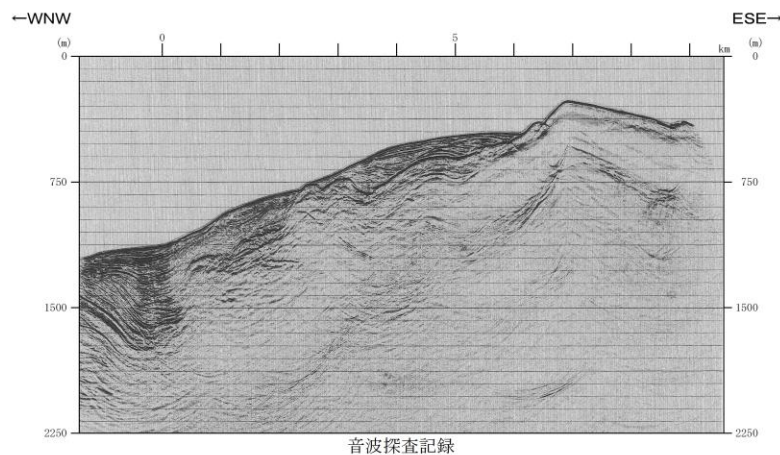
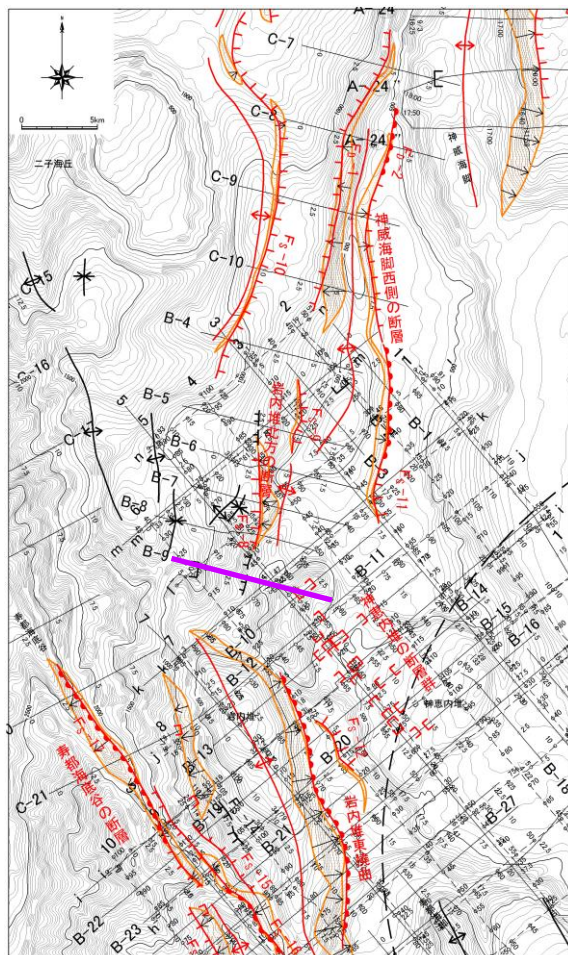
変形幅



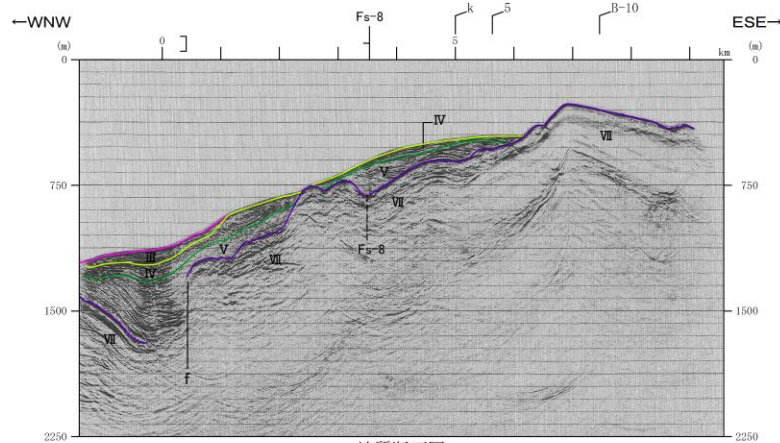
数字 (角度) は水平・垂直が 1:1 の傾斜角度

V.E. 約3

■神威海脚西側の断層群の南方延長(測線B-9)



音波探査記録



地質断面図

本測線付近では、岩内堆
北方の断層(Fs-8断層)は、
Ⅶ層にわずかな変形が認
められるが、それを覆うⅤ
層以上の地層には、変位及
び変形は認められない。

凡 例

- I Ⅰ層 (完新統)
- II Ⅱ層 (上部更新統)
- III Ⅲ層 (中部更新統)
- IV Ⅳ層 (上部鮮新統～中部更新統)
- V Ⅴ層 (鮮新統)
- VI Ⅵ層 (始新統～中新統)
- VII Ⅶ層 (始新統以下)
- VIII Ⅷ層 (中部更新統)
(貫入岩)

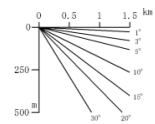


— Fs-10 断層及び断層番号
(変形) Fs-2

┌ 連続しない断層



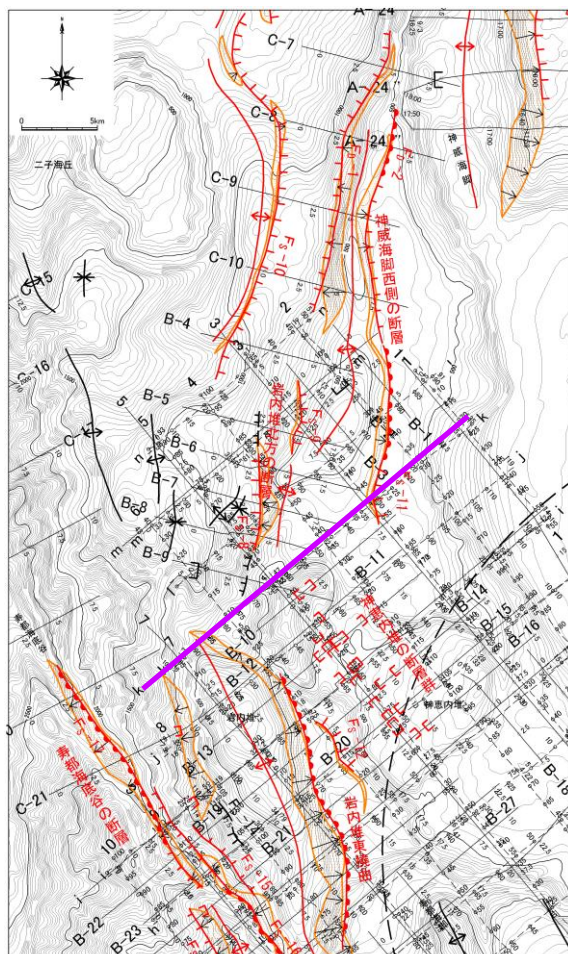
※赤は耐震設計上考慮



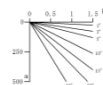
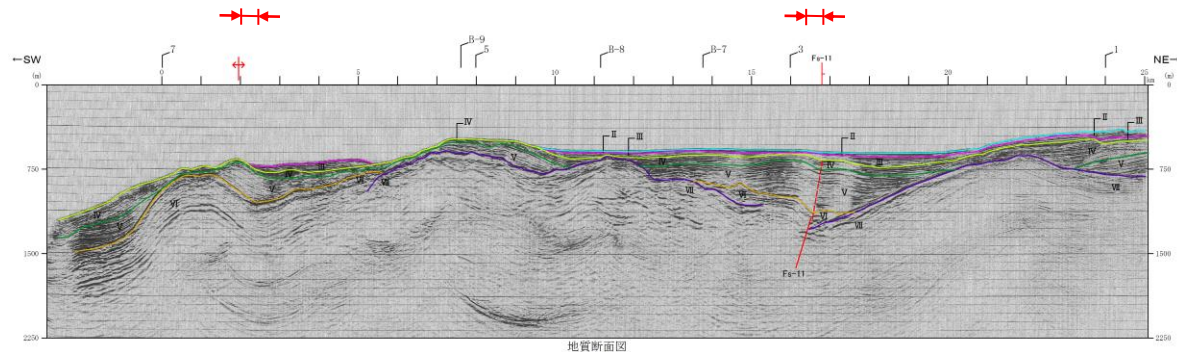
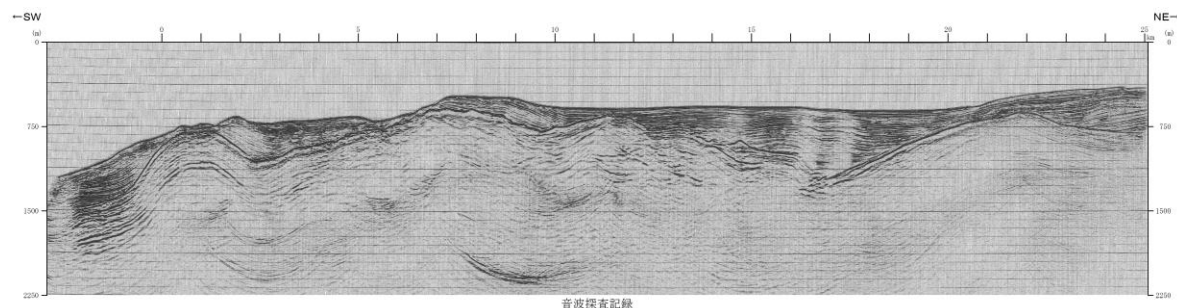
数字 (角度) は水平・垂直が
1:1の傾斜角度

V.E. 約3

■ 神威海脚西側の断層群(測線k)



神恵内堆北方の小海盆内には神威海脚西側の断層(Fs-11断層)が認められる。



数字(角度)は水平・垂直が
1:1の傾斜角度

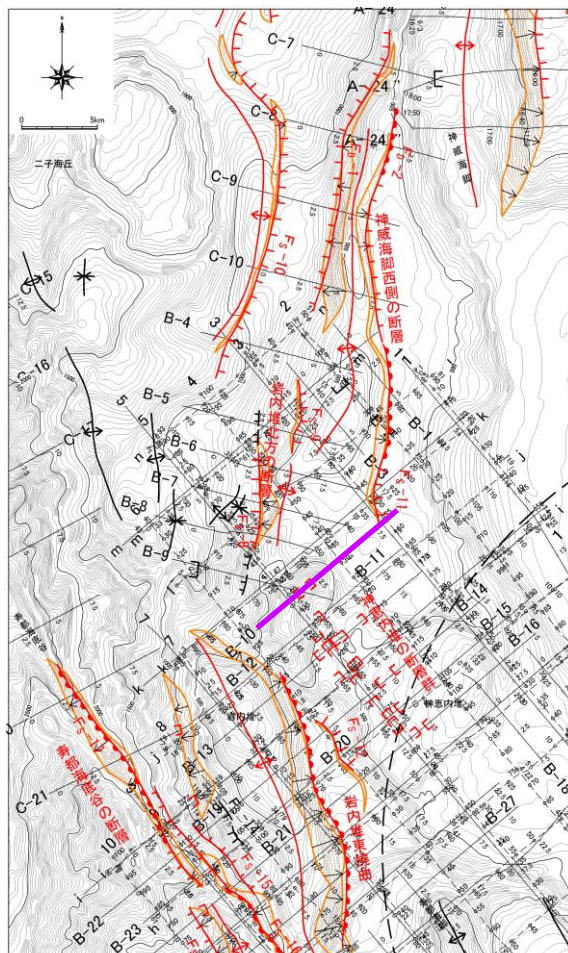
V.E. 約3

凡 例

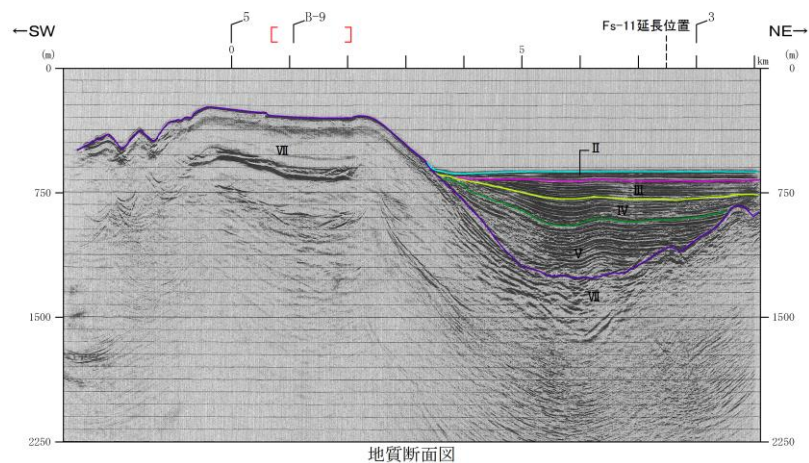
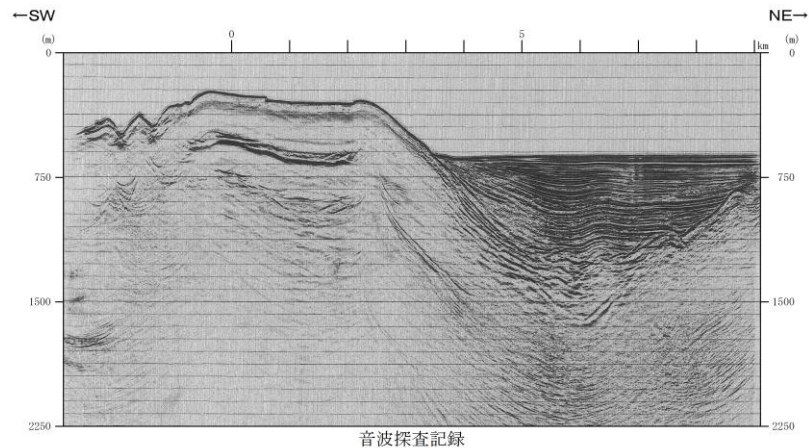
- | | |
|----------------------|---------------------|
| I 層 (完新統) | — Fs-10 断層及び断層番号 |
| II 層 (上部更新統) | - - - Fs-2 断層及び断層番号 |
| III 層 (中部更新統) | ┌ 連続しない断層 |
| IV 層 (上部鮮新統～中部更新統) | ↔ 背斜軸 |
| V 層 (鮮新統) | ✱ 向斜軸 |
| VI 層 (始新統～中新統) | ※赤は耐震設計上考慮 |
| VII 層 (始新統以下) | ↔ 変形幅 |
| VIII 層 (中部更新統 (貫入岩)) | ~ 地層境界 |

神威海脚西側の断層群の概要

■神威海脚西側の断層群の南方延長(測線B-10)



小海盆内の神威海脚西側の断層の延長部には、後期更新世以降の活動を示すような変位及び変形が認められない。

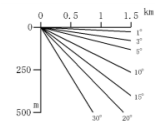


- 凡 例
- I 層 (完新統)
 - II 層 (上部更新統)
 - III 層 (中部更新統)
 - IV 層 (上部鮮新統～中部更新統)
 - V 層 (鮮新統)
 - VI 層 (始新統～中新統)
 - VII 層 (始新統以下)
 - VIII 層 (中部更新統 (貫入岩))

- ～ 地層境界
- F₃-10 断層及び断層番号
- - - F₂-2 (変形)
- ┌ 連続しない断層
- ⇄ 背斜軸
- ✱ 向斜軸

※赤は耐震設計上考慮

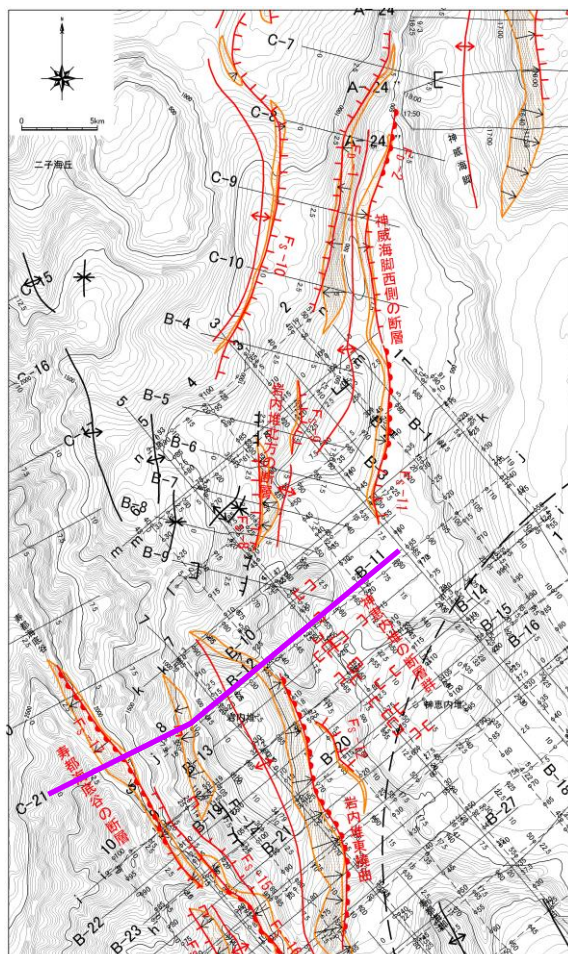
- ||| 変形幅



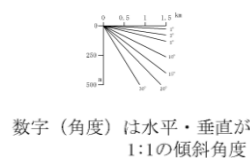
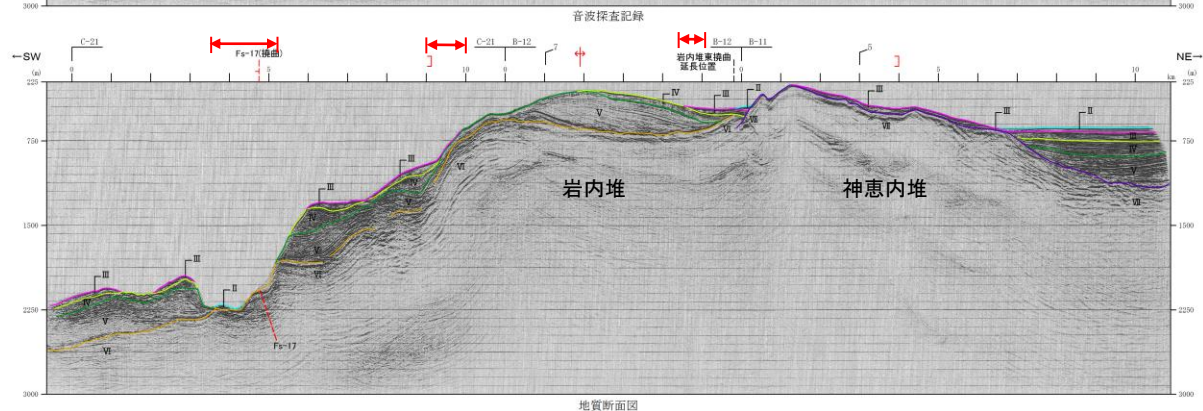
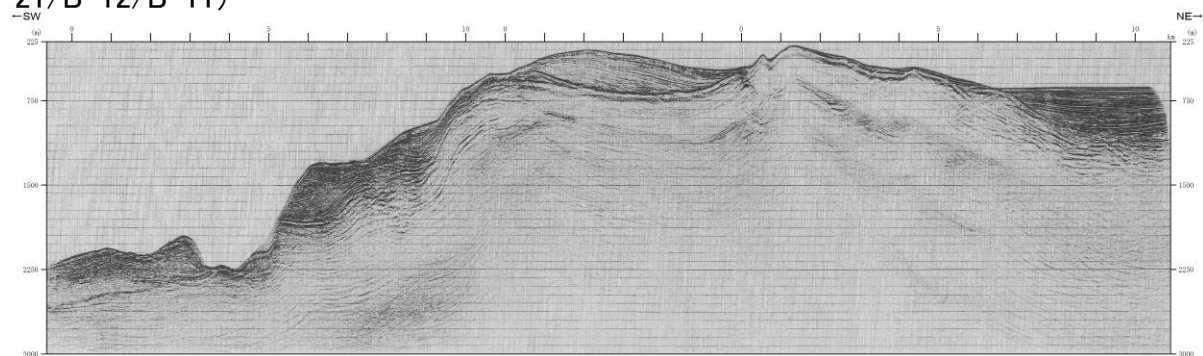
数字 (角度) は水平・垂直が 1:1 の傾斜角度

神威海脚西側の断層群の概要

■神威海脚西側の断層群の南方延長(測線C-21/B-12/B-11)



小海盆と岩内堆の間にはⅦ層により形成される神恵内堆が分布する。



数字(角度)は水平・垂直が1:1の傾斜角度

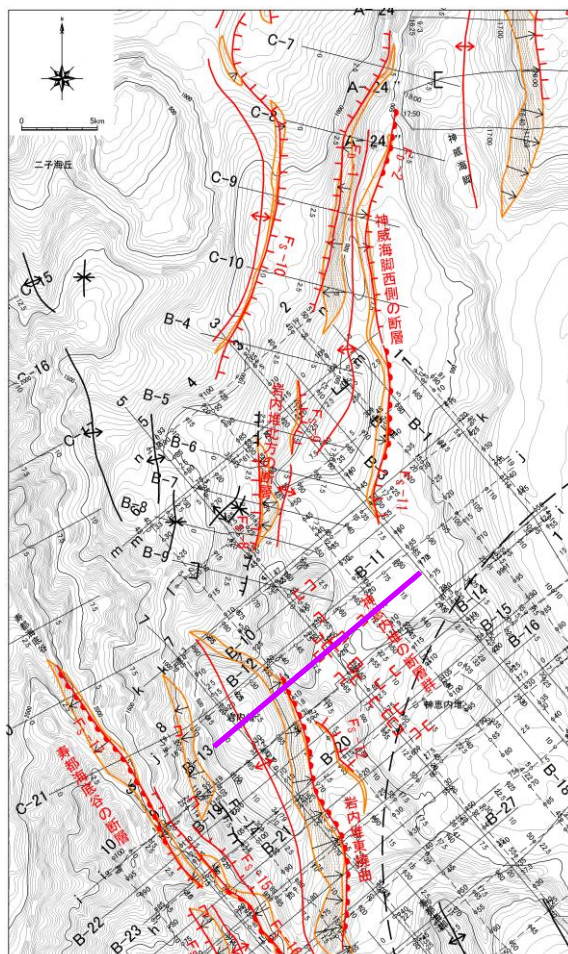
V.E. 約3

凡 例

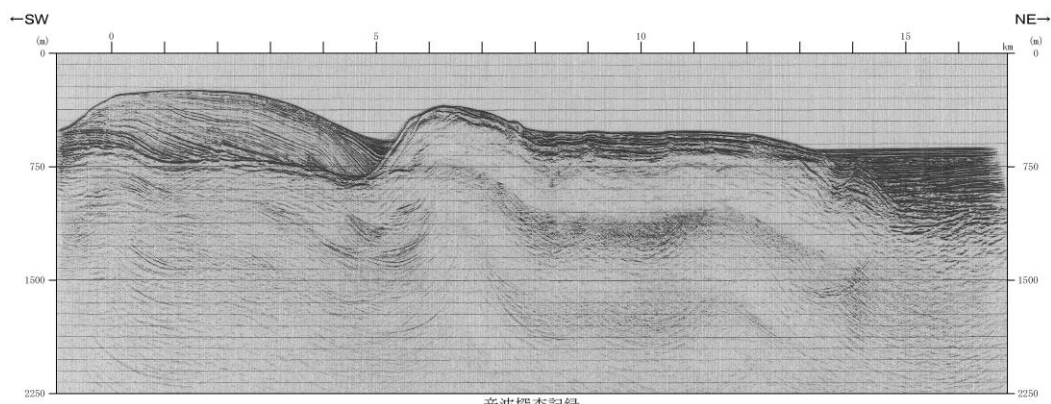
- | | |
|---------------------|------------------|
| I 層 (完新統) | — Fp-10 断層及び断層番号 |
| II 層 (上部更新統) | - - - Fp-2 (変形) |
| III 層 (中部更新統) | ┌ 連続しない断層 |
| IV 層 (上部鮮新統～中部更新統) | ⇄ 背斜軸 |
| V 層 (鮮新統) | ✱ 向斜軸 |
| VI 層 (始新統～中新統) | ※赤は耐震設計上考慮 |
| VII 層 (始新統以下) | 変形幅 |
| VIII 層 (中部更新統)(貫入岩) | |
| ～ 地層境界 | |

神威海脚西側の断層群の概要

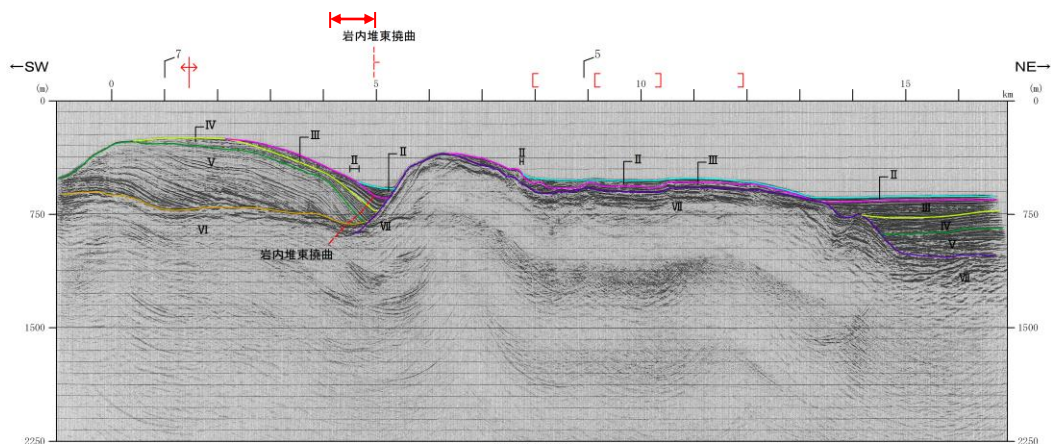
■神威海脚西側の断層群の南方延長(測線B-13)



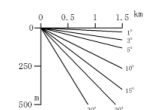
小海盆と岩内堆の間にはⅦ層により形成される神恵内堆が分布する。
神恵内堆の西側に岩内堆東撓曲が認められる。



音波探査記録



地質断面図



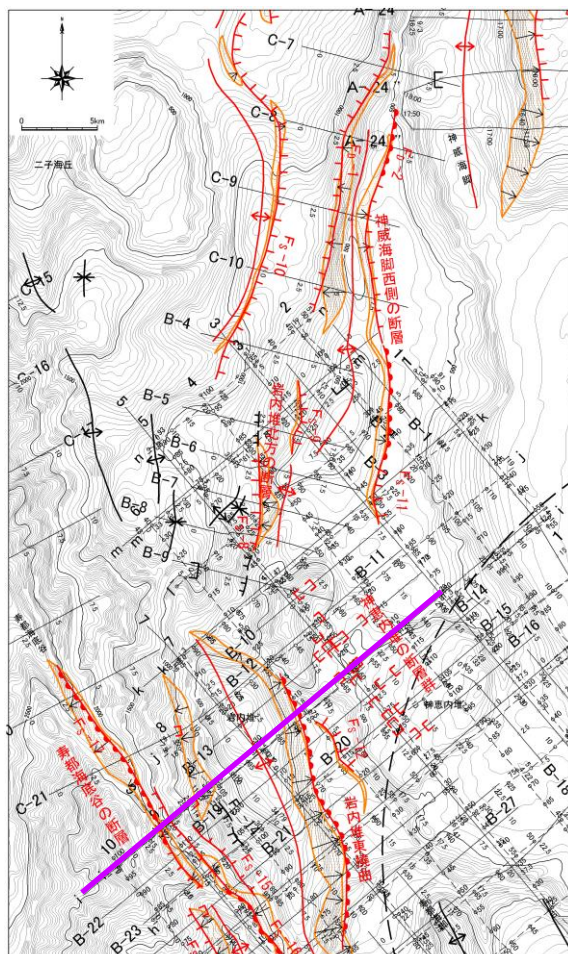
数字(角度)は水平・垂直が
1:1の傾斜角度

V.E. 約3

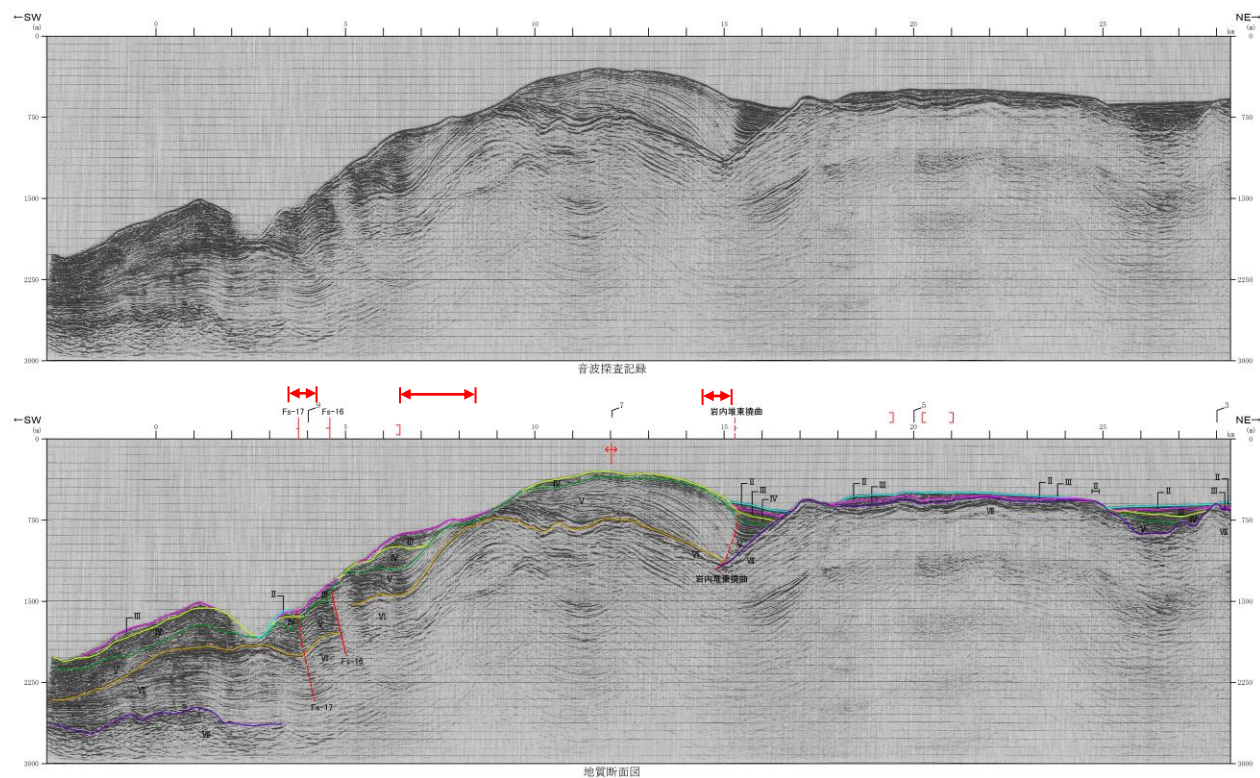
凡 例

- | | | |
|----------------------|-------------------------|----------|
| I 層 (完新統) | — F ₉ -10 | 断層及び断層番号 |
| II 層 (上部更新統) | - - - F ₉ -2 | (変形) |
| III 層 (中部更新統) | ┌ | 連続しない断層 |
| IV 層 (上部鮮新統～中部更新統) | ↔ | 背斜軸 |
| V 層 (鮮新統) | * | 向斜軸 |
| VI 層 (始新統～中新統) | ※赤は耐震設計上考慮 | |
| VII 層 (始新統以下) | | 変形幅 |
| VIII 層 (中部更新統 (貫入岩)) | ~ | 地層境界 |

■神威海脚西側の断層群の南方延長(測線 i)



神恵内堆の西側に岩内堆東撓曲が認められる。



数字(角度)は水平・垂直が
1:1の傾斜角度

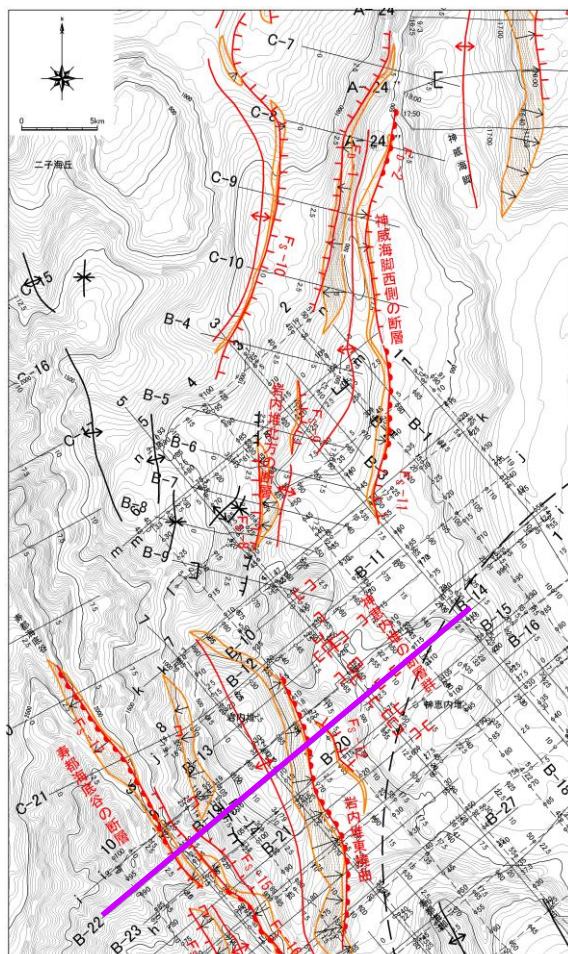
V.E. 約3

凡 例

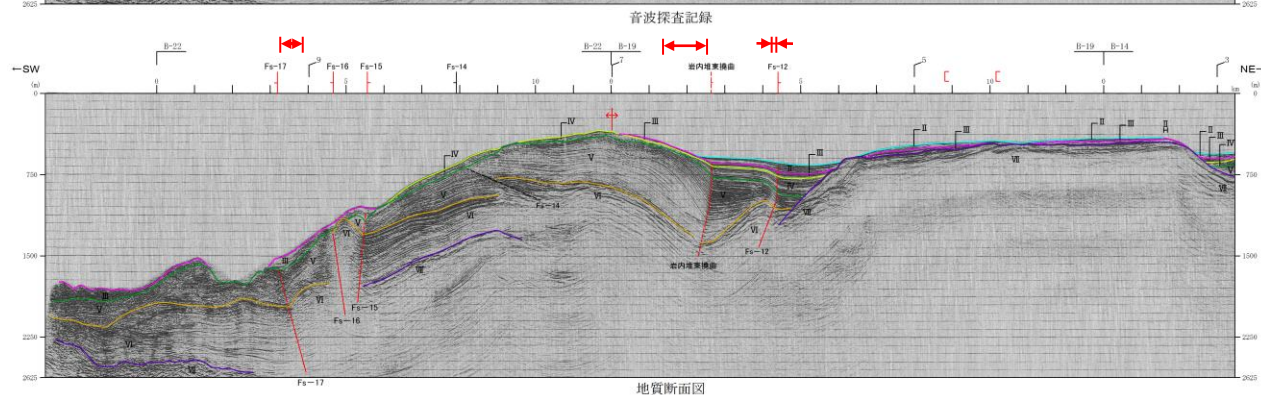
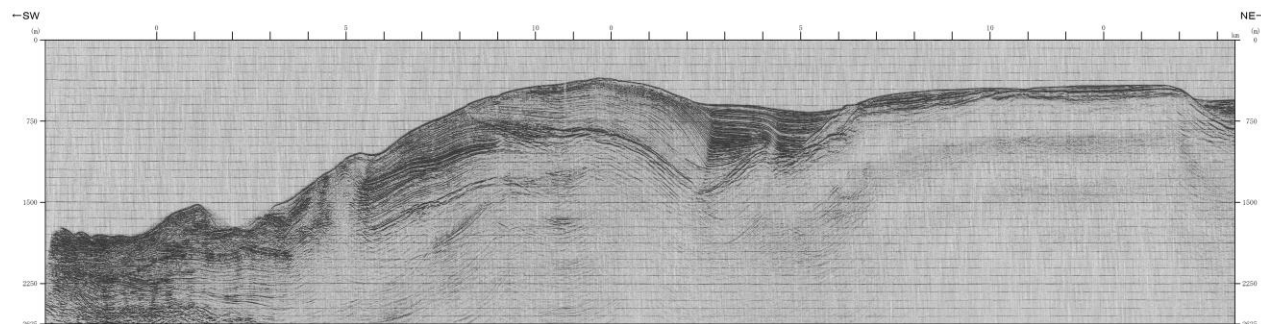
- | | |
|----------------------|------------------|
| I 層 (完新統) | — Fg-10 断層及び断層番号 |
| II 層 (上部更新統) | - - - Fg-2 (變形) |
| III 層 (中部更新統) | ┌ 連続しない断層 |
| IV 層 (上部鮮新統～中部更新統) | ⇄ 背斜軸 |
| V 層 (鮮新統) | * 向斜軸 |
| VI 層 (始新統～中新統) | ※赤は耐震設計上考慮 |
| VII 層 (始新統以下) | ◄► 変形幅 |
| VIII 層 (中部更新統) (貫入岩) | 〰 地震境界 |

神威海脚西側の断層群の概要

■神威海脚西側の断層群の南方延長(測線B-22/B-19/B-14)



神恵内堆の南南西に岩内堆東撓曲が認められる。



地質断面図



数字(角度)は水平・垂直が
1:1の傾斜角度

V.E. 約3

凡 例

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| I 層 (完新統) | — Fg-10 断層及び断層番号 |
| II 層 (上部更新統) | - - - Fg-2 断層及び断層番号 |
| III 層 (中部更新統) | ┌ 連続しない断層 |
| IV 層 (上部鮮新統～中部更新統) | ⇄ 背斜軸 |
| V 層 (鮮新統) | ✱ 向斜軸 |
| VI 層 (始新統～中新統) | ※赤は耐震設計上考慮 |
| VII 層 (始新統以下) | |
| VIII 層 (中部更新統)
(貫入岩) | 変形幅 |
| 地震境界 | ~ 地震境界 |